

2021年度・プムセ国際大会派遣選考基準（改訂）

2020年1月12日

1、2021年度派遣対象大会

2021ワールドユニバーシティーズゲームス（旧・ユニバーシアード競技大会）を除く国際大会について、WT が定める G1 以上の大会のうち1～2大会を派遣予定とする。当面下記大会を想定するが、アジア圏で同等の大会が設定された場合はこの限りではない。

- ・2021 第3回アジアユースゲームズ（中国・シャントウ 日程未定）

2、選考基準大会

- （1）第14回全日本プムセテコンドー選手権大会（2020年10月25日開催）
- （2）第4回全国少年少女選抜選手権大会（2021年3月28日開催予定）

3、2021年度プムセ国際大会派遣選考について、以下の選考基準にて実施する。

- （1）選考対象種目は、下表のとおりとする。

（○が選考対象種目）

規定プムセ		カデット	ジュニア	U-30
	個人	○	○	○
	ペア	○	○	○
	チーム	×	×	×
フリースタイルプムセ		Under17	Over17	
	個人	○	○	
	ペア	○	○	
	ミックス	×	×	

- （2）選考対象選手

2021年度プムセ強化指定選手および育成選手

- （3）選考基準

ア 個人競技

「第14回全日本プムセテコンドー選手権大会」、「第4回全国少年少女選抜選手権大会」の成績が3位以内の選手

イ ペア競技

前記アで選考された男女個人または、選考には漏れたがそれに準ずる成績の者の中

で前記ア及びイにて選考された男女個人よりも上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者。個人カテゴリで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者とする。

ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定プムセのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定プムセ+フリースタイルプムセを試技して総得点を競う）となった場合は、「第14回全日本プムセテコンドー選手権大会」、「第4回全国少年少女選抜選手権大会」におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して選考する。

(4) 強化委員会において、(2)で定める選考対象選手の中から、(3)で定める選考基準に従って派遣選手を選出する。-

(5) 前記(4)にて選出された選手について、強化委員会から理事会へ上申し、理事会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

4、選考対象種目、選考対象選手について

派遣対象大会の大会要項を精査した上で強化委員会が原案を作成し、理事会の承認を得て当該大会へ派遣することができる。